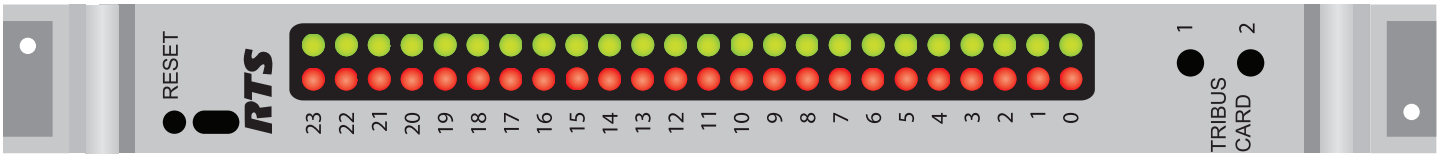
RTS Digital Matrix Intercom
Innovating the Future of Communications



TBX-Tribus

ADAM用トリプル・バス拡張カードキット

TBX-Tribus光ファイバーカードは最大4台のADAMフレームをリンクし、一つのマトリックスシステムとしてまとめ上げることが可能です。これは、それぞれのマトリックスフレームを集積することによって、巨大なマトリクスとなり、システムに接続されるユーザー数を増やすことが可能になります。（TBX-Tribusを使用してADAMフレームをリンクさせるには、各ADAMフレーム内にMCII-eが実装されていることが必要です）

この機能は、TBX-Tribusで光ファイバーを通したデジタルオーディオを使用してシステムを結び付けますので、中継車等モバイル設備のリンクに対し非常に有効的です。

これらのADAM内のMCII-eマスター・コントローラーはイーサーネットを経由して相互に繋がっている状態になります。光ファイバーまたはイーサーネットにリンクされたADAMフレームの1台に障害が起こると、そのADAMは自動的にリンクから外され、単独で機能する「アイランド」フレームとなります。その他の正常なフレームは通常のリンクされたシステムとして機能し続けます。

TBX-TribusはAIO-8またはAIO-16内蔵のフレームで稼動し、AZeditインターカム・ソフトウェアで簡単に設定が行えます。TBX-Tribusカードを内蔵するADAMフレーム間の接続距離は最大40kmであり、光ファイバーのみで接続が可能です。TBX-TribusはDual Bus Expansionよりも優れた性能を誇り、最大128チャンネルのDBXカードに対し、TBX-Tribusは倍の256チャンネルまでサポートします

特　徴

ADAMインターフェース

TBX-Tribusカードは、ADAMインターカムシステムに内蔵されるAES、AIO、RVONカード等の既存のモデルと完全に互換性があります。オーディオやデータコントロールのルーティングはTDMやコントロール・バスの電気回路と互換性があり、ハードウェア・ソフトウェアはともにシームレスに動作します。インターカム・ソフトウェアのAZeditを通してファームウェアをダウンロードできる機能も装備しています。

1リンク当たりのチャンネル数

TBX-Tribusは3本の光ファイバーリンクがあります。各リンクは最大256オーディオチャンネルをサポートし、これはAIO-16システムに対して適応されます。一方、AIO-8をベースにしたインターカムシステムには、最大128チャンネルをサポートします。

新しいシステムアーキテクチュア

TBX-Tribusの開発と同時にシステム構造に変更が加えられ、フレームに障害が発生した際に自動的に再設定される機能が追加されました。つまり、あるマスタフレームに障害が発生するとその障害が解消されるまで別のADAMフレームが全体のシステムを制御します。このセーフティーメカニズムはオーディオとコントロールの両面に対して適用され、システムのどんなタイプの障害も防ぐことができます

SFPによる光ファイバーサポート

バックカードには3つのSFP（small-form-factor pluggable）コネクタを装備しており、多様な接続距離をサポートします。ユーザーは市販品(COTS)の光モジュールをコネクタに挿入することでマルチモードまたはシングルモードの光ファイバーが利用できます。

システムの拡張性

TBX-Tribusは次世代のASIC“Nucleus”を搭載し、将来のシステム拡張やより高いパフォーマンス機器への対応に備えます。